

Camping ぎふ

令和3年2月28日 発行
発行 岐阜県キャンプ協会
編集 板津 均
事務局 〒500-8222
岐阜市琴塚 1-8-6 坪田方



HPQRコード



令和2年度の活動を振り返って

岐阜県キャンプ協会
会長 野崎 英雄



令和2年度の活動を振り返ってみると、この一年間はコロナウィルスの影響で感染防止のためにすべての事業を中止したことに大変心を痛めています。また、会員の皆様に心配をおかけして大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

このことは、岐阜県キャンプ協会だけでなく、他県のキャンプ協会も同じ状況でした。どの協会も事業の開催を中止したり、縮小したりせざるを得ない状況の一年間でした。わたくしたち岐阜県キャンプ協会の運営委員会も、通常ならば毎月集まって会議をしていたのですが、すべての会議をリモートにして開催しました。全員がなかなか集まることができない中、リモートという方法で意見交換をすることができました。

しかし、直接顔を合わせて議論や意見交換をするのとは違って、意思の疎通が難しいのも実感です。仕事に忙しい運営委員が仕事先からアクセスして会議に参加したり、携帯電話で路上に車を駐車して会議に参加していただけたのはとてもありがたいことですし、リモートという便利な機能によって離れていても意見交換をすることができることを体感しました。

日本協会においても、すべての会議がリモートで行われ、中部・北陸ブロック会議も日本協会の方は東京の本部事務局から参加していただいたり、それぞれの拠点や自宅から会議に参加したりして、機能的であり有意義な会議をもつことができました。

しかし、やはり、直接顔と顔を合せて話すのとは違って、どうしても実務的な面だけでつまらなさを感じるのは私だけでしょうか。でも、このリモートという会議の在り方は今後も続けなければならないと思わざるを得ません。

こうした、コロナウィルスの感染の心配や不安を抱えた毎日は誰にとってもストレスになりがちです。いつ自分が感染するのかわからない不安、また、家族の誰かが、職場の誰かが、地域の中で、電車の中で、いつも行っているスーパーやお店の中で、と考えればきりがありません。不安や心配が他人を傷つけたり、コロナに異常なまでに不安がるために心身の異常を感じることもさえるようになってきます。

そんな中、少人数での家族キャンプや個人個人がキャンプを楽しむ「ソロキャンプ」が注目されていることをご存知でしょうか。Stayhomeを求められ、息が詰まりそうなくらい毎日ですが、自然の中では、人との距離を保つことができ、密になる事は少ないのです。雄大な自然の中で、のびやかに過ごすことは心身にとってもとても大切なことです。自然の中で、ゆっくりとのんびりと過ごす時間をもつことは自分らしさを作り上げるのに最適なことです。

会員の皆さんもぜひやってみてください。不安でいっぱいの毎日から、少し離れて過ごしてみるという非日常をキャンプすることによって作り上げてみてはいかがでしょうか。

これからは、コロナを克服するのではなく、コロナと共に私たち人間はどのように関わりながら生きていく（with Corona）のかを模索するときではないでしょうか。今しなければならぬこと、今私たちができることは何かを模索しながら次年度の岐阜県キャンプ協会の事業を考えていくことを大切にしたいと思います。皆さまの知恵とアイデアを協会までお寄せいただきながら、共に作っていただけることを願っています。よろしくご協力ください。



今、大変なキャンプブームです。私たちが、描いていたキャンプ像は、ファミリーキャンプに代表されるグループキャンプ、いわゆるグルキャン若しくは、組織キャンプでした。コロナ禍の今、求められているのは、ソーシャルディスタンスを取りつつ楽しめる家キャン、ソロキャンです。



グルキャン、組織キャンプ（イベントキャンプ）の利点は、大人数でのキャンプのため、キャンプ日程がある程度決められており、自分で企画する必要がないこと。対象者であれば、だれ

でも参加できること、要するにグループや組織で決められたルールに乗っかってキャンプを進めていけばよいことです。

それに対して、ソロキャン、家キャンは、キャンプサイトとか河原とか、家の庭等省スペースがあれば、自分たちで勝手に行うことができます。参加時間自由、食事は自分で勝手に作る等。これらのキャンプを行う上でも、注意をすることは必要にせよ、お手軽に行えることが、最大のメリットではないでしょうか。

では、我々キャンプ協会が、求められているキャンプとは？と言うことになるのですが、現状は、グルキャン、組織キャンプを行うためには、非常に高いハードルがあります。今、この時期にキャンプをやらなくてもいいんじゃない？と、大抵の人は言われます。

ここで、一つ考えてほしいのは、じゃあ、今、キャンプができないの？ということです。

前述した、グルキャン、組織キャンプとソロキャン、家キャンの個人キャンプに分けて考えることが、そもそもの間違いではないでしょうか。例えば、今、一番問題になっているのが、キャンプファイヤー。団体キャンプでは定番ですよね。これって今、この時期にできないですかね。例えば、ファイヤーストームを焚火にかえるとか。野外ゲームについては、ソーシャルディスタンスが取れるものにアレンジして行うことも可能ではないでしょうか。



できない。やらない。それは、簡単だと思います。しかし、我々は、例会においても、リモート会議を採用したりして、このコロナ禍を乗り越えようとしています。理想とするキャンプは、みんなで一緒にわいわいがやがや楽しいキャンプ。でも、コロナ禍の今だからこそ、じっくり、しんみり焚火を眺める「焚火キャンプ」や、ソーシャルディスタンスを保ったキャンプをしようではありませんか。できないことをやるには、今までのキャンプの常識の殻を破って挑戦することが必要だと思います。そして、また、盛大に何の制約もなく、みんなと一緒に自然の中でキャンプができる日を待って、今できるキャンプを楽しみましょう。さあ!!レッツ!キャンプ!



西和良にて有志キャンプを行いました

去る令和2年11月22日（土）から23日（日）の日程で、郡上市西和良地内にある西和良小学校跡地において有志キャンプを行いました。

西和良小学校は、1996年に老朽化に伴い立て直しをしましたが、児童数が2019年3月に児童数が少なくなったため、近隣の小学校と合併されて廃校となりましたが、地域の憩いの場となるように地元の人々が日々整備をしています。

この日は、肌寒い日でありましたが、各々が作った料理に舌鼓を打っていました。

また、夜遅くまで仲間と語り合っていました。



旧西和良小でのキャンプの様子です。

INFORMATION

2021 年は日本キャンプ協会設立 55 周年です!

日本キャンプ協会は、2021 年に設立 55 周年の節目の時を迎えます。「野外活動としてのキャンプの普及と振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与すること」を目的に、半世紀を超える活動を展開し多くのキャンプ指導者を輩出してきました。これまでの活動をふりかえり、これからの日本キャンプ協会の未来を確認するために、2021 年 9 月に設立 55 周年記念大会を、静岡県立朝霧野外活動センターで開催することになりました。久しぶりの全国大会になりますが、会員やキャンプ愛好者が集う、楽しく有意義な大会にしたいと考えています。詳細については、随時、お知らせする予定です。

【設立 55 周年記念大会】

日 程:2021 年 9 月 18 日(土)~20 日(月・祝)

場 所:静岡県立朝霧野外活動センター



岐阜県キャンプ協会第24回通常総会開催

日 時:2021年4月24日(土)午後3時~

場 所:揖斐高原貝月リゾートキャンプ場

自然観察会と山菜採り

日 時:2021年4月25日((日)午前9時~午後3時30分

場 所:揖斐高原貝月リゾートキャンプ場

関市洞戸でできた、でっかいゆずです。私たち、キャンプ協会も、このコロナ禍の中、柚木に負けないくらいでっかくなりましょう。

